

マネジメント入門		高橋 秀直	
-----------------	--	--------------	--

配当年次	1年次	配当学期	1学期	科目区分	ベーシック
単位数	2単位	必修・選択	選択	授業形態	講義

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標
/ Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標	
知識・理解	理論知識	◎	企業や組織のマネジメントの理解に必要な基礎的な専門知識を修得する。
	実践知識		
技能	分析解決技能	○	マネジメントに関わる課題を発見・分析し、解決策を考えることができる。
	実務技能		
	新規事業技能		
態度	倫理観態度	○	市民としての社会的責任感や倫理観を持ち続けることができる。
	企業変革態度	○	マネジメントの知識を用いて企業に関する高い見識と変革する力を持ち続けることができる。
	地域リーダー態度	○	マネジメントに関する知識を用いて地域に関する諸問題に積極的に取り組むことができる。
	国際協調態度		
※ ◎：強く関連 ○：関連 △：やや関連			マネジメント入門

授業の概要 本講義は、経営学の初学者を対象に、経営学の基礎的な知識を提供すること、企業あるいは組織というものの存在により関心を払ってもらえるようになってもらうことが目的である。さらに、この講義を通じて、必修科目やアドバンス科目、エグゼクティブ科目の理解が深まるようになることも目的である。本講義の到達目標は、経営学の基礎的な知識を習得することである。

教科書 特に指定せず、適宜資料を配布する。
(ケースを使用する場合、ケース代金が別途必要になる場合がある)

参考書 榊原清則『経営学入門（上・下） 第2版』日本経済新聞出版社、2013年。
神戸大学経済経営学会『ハンドブック経営学』ミネルヴァ書房、2011年。
井原久光（編）『経営学入門キーコンセプト』ミネルヴァ書房、2013年。

基本的には必修科目の教科書・参考書に準じる。
それ以外については、適宜紹介する。

- 授業計画・内容**
- ① オリエンテーション：企業経営の全体像
 - ② マネジメントとは(1)【マネジャー、マネジメント】
 - ③ マネジメントとは(2)【マネジメント環境、組織文化】
 - ④ 意思決定と計画(1)【意思決定プロセス、限定合理性】
 - ⑤ 意思決定と計画(2)【計画策定の本質、戦略的マネジメント】
 - ⑥ 外部環境分析(1)【マクロ環境分析】
 - ⑦ 外部環境分析(2)【産業・業界分析】
 - ⑧ 内部環境分析(1)【バリューチェーン】
 - ⑨ 内部環境分析(2)【コア・コンピタンス、経営資源分析】
 - ⑩ 組織デザイン(1)【職務設計、情報処理パラダイム】
 - ⑪ 組織デザイン(2)【職能性組織、事業部制組織、マトリックス組織】
 - ⑫ 組織変革(1)【組織変革、変革プロセス】
 - ⑬ 組織変革(2)【抵抗のマネジメント、リーダーシップ】
 - ⑭ 組織間関係【資源依存、取引コスト】
 - ⑮ 総合討議

なお、受講生の理解度や関心に依じて、内容は適宜変更される可能性がある。

成績評価の方法 発言など授業への貢献度・・・30%、小レポート・・・30%、期末レポート(テスト)・・・40%

事前・事後学習の内容 事前にリーディング（ケース及び教科書的なもの）を読み込んだ上で、課題について考えてきてもらう。
また、授業で扱った理論やフレームワークなどを用いたケースの(再)分析課題を課すこともある。

履修上の注意 特に前提となる知識は必要としない。
ケーススタディの形式を用いる予定である。そのため事前のリーディング(ケース及び教科書的なもの)を読み込んだ上で、課題について考えてきてもらい、それらを中心に議論しながら経営に対する考え方などに対する理解を深める予定である。
また、十分な復習をすることで理解を深めてもらいたい。

経営学の初学者向けの講義であるため、経済・経営系の学部を卒業した者、経営に関する様々なセミナー等に参加したことのある者、経営系の書籍を多数読んだ者については、履修する必要はない。

担当者からのメッセージ 内容が盛りだくさんのため、進度等が早いと思われるが、食らい付いてもらいたい。
そのためには予習や復習にかなりの時間が必要になる。
また、授業を含めて、常に自分で考えることが求められる。

キーワード